

2022 年度事業計画

1. 図書館事業

1. 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

2. 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書
曾根博義文庫（継続 2021 年 11 月末現在 1,402 冊登録済）
青木鐵夫収集藤枝静男コレクション（継続）
平岩米吉旧蔵書、金子武夫氏旧蔵書、掘尾宗久氏寄贈図書（継続）
瓜生鐵二文庫、山川方夫文庫
ほか 計約 4,000 冊

雑誌 出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要
購入雑誌（主に欠号補充）
川上春雄文庫
高見順文庫、社会文庫、美土路昌一コレクション（追加・未整理分）
ほか 計約 10,000 点

特別資料 <登録予定>
伊藤整文庫（継続）
昭和戦前期プロレタリア文化運動資料（継続）
澤木欣一・細見綾子資料（継続）
平山米吉旧蔵諸家原稿、上田敏雄コレクション、
品川力宛諸家書簡、木俣修旧蔵資料、高安国世資料
ほか 計約 3,000 点

<整備・登録準備 継続>
志賀直哉コレクション

- ② 図書・特別資料の遡及入力

図書 芥川龍之介文庫（芥川龍之介文庫目録増補改訂版準備／継続中）
一般書架配架の作品、全集正本

特別資料 文庫・コレクションを中心に（継続）

- ③ 資料のデジタル画像化

3. 閲覧・公開

- ① 駒場本館 休館日＝日曜、祝日以外の月曜、月曜祝日の翌火曜（または月曜を含む連休の翌日）、第4木曜、年末年始、特別整理期間
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）
- ② 資料複写、資料写真サービス
視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

4. 出品等協力

5. 特別整理期間

6月14日（火）～18日（土）／2023年2月14日（火）～18日（土）
（書架調整、曝書、庫内清掃、衣類など布製資料の虫干しほか）

6. 図書資料委員会

7. 志賀直哉コレクション研究委員会

2. 展覧会事業

1. 春季特別展

「川端康成没後50年・日本近代文学館開館55周年
川端康成 一人を愛し、人に愛された人」展

会期：4月2日（土）～6月11日（土）

編集委員：坂上弘・中島国彦

部門構成：1 若き日の体験—生い立ちと創作の原体験
2 小説の実験室—掌の小説と「文藝時代」
3 作品の成熟—新進作家への眼差し
4 作品生成の魔術—「雪国」
5 証言者の眼—「名人」
6 一つの転機—「故園」「哀愁」
7 戦後の社会に生きて—「山の音」「みづうみ」から「眠れる美女」へ
コーナー展示：葬式の名人、書簡・書籍に見る交流

図録を作成（B5判、カラー48p、800部）

小池昌代氏（作家・詩人）と中島国彦編集委員との記念対談を収録し、オンラインで配信する（石橋財団助成）

2. 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅳ 夏目漱石「こころ」とその時代」

会期：6月25日(土)～9月10日(土)

編集委員：安藤宏・中島国彦

*7月(日未定)、関連講座「「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして」

3. 秋季特別展 「住井すゑ、問い続ける 95 年の軌跡」

会期：9月17日(土)～11月26日(土)

編集委員：江種満子、金井景子、中谷いずみ

図録を作成

会期中に講演会を開催

川端康成記念室＝「川端康成と日本近代文学館」(仮題)を同時開催

4. 冬季企画展 新収蔵資料展

会期：12月3日(土)～2023年2月11日(土)

編集委員：栗原敦、林淑美

「萩原朔太郎大全」企画コーナー併設

前橋文学館の呼びかけにより、2022年に没後80年を迎える萩原朔太郎ゆかりの文学館・美術館等が同時期に朔太郎関連展を開催する企画。「4. 新規収蔵資料展」の一画に「萩原朔太郎コレクション」資料等を紹介するコーナーを設ける

5. 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」

会期：2023年2月21日(火)～3月25日(土)

*「4. 新規収蔵資料展」と同時開催

3. 講座・講演会事業

1. 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回10名程度。

2. 資料は語る 「資料で読む『東京文学誌』・「文学者の海外体験」

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日

後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、定員各回30名

◀前期「資料で読む「東京文学誌」▶

4月16日 庄司達也 「芥川龍之介「雛」の銀座「煉瓦通り」―「紺珠十篇の中」という懐かしいお話から小説へ」

5月21日 中島国彦 「夏目漱石 ― 作品に描かれた東京市外」

6月11日 井上隆史 「三島由紀夫「鏡子の家」の東京とニューヨーク ― その光と影」

◀後期「文学者の海外体験」▶

9月17日 片山倫太郎 「川端康成ノーベル賞授賞式の旅―「美しい日本の私」

10月15日 須田喜代次 「森鷗外の滞独時代―『日本からの手紙』にほの見える〈日本への手紙〉―」

11月19日 和田博文 「深尾須磨子のヨーロッパ紀行―「滞欧日記」を読む」

3. 声のライブラリー（石橋財団助成事業）

感染拡大状況を鑑み、例年おこなっていた年4回の開催を取りやめ、2020年、2021年と同様の無観客の朗読および対談収録・配信とする

4. 「教室」と「文学」をつなぐ―日本近代文学館を橋渡しとして

7月（日未定）開催

夏季企画展にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法（ミニレクチャー）や意見交換会（定員30名）をおこなう。書庫見学は行わず、当日の模様をZOOMでライブ公開を検討（無料／定員60名）

5. 第57回夏の文学教室 「病と健康の文学誌」

読売新聞社後援、7月25日（月）～30日（土）、有楽町・よみうりホール

6. 文学館演習―日本近代文学資料の探索と処理

8月23日（火）～27日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20コマ30時間、2単位）。定員20名 *プログラム別掲

7. 文学館職員研修講座

2023年1月下旬の3日間（日未定）

4. 刊行事業

1. 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期

第8回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）

2. 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第18号

2023年3月刊行予定

新編集委員3名（任期3年）を3月の理事会で決定

3. 「芥川龍之介文庫目録増補改訂版」

『芥川龍之介文庫目録』（1977年7月刊、現在品切れによりコピー版を頒布）について、追加受贈資料も含めた増補改訂版を作成

4. 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

公益社団法人日本文藝家協会創立100周年、当館創立55周年・開館50周年記念事業として、2021年度末JapanKnowledge Libから公開開始。引き続き元版の改訂作業および増補・書直し・新規立項あわせて約250項目の編集作業を行う（第二期：2022年度末公開予定）

5. 『明治文学の彩り 口絵・挿絵の世界』

館編、春陽堂書店発行、2022年6月刊行予定

2021年度冬季企画展をもとに、展示物の図版とキャプションを中心に書籍を製作する。

5. 運営審議会

・6月25日（土）、2022年度運営審議会開催予定

6. 全国文学館協議会

・6月15日（水）、幹事会、2022年度総会

7. 広報

・館報「日本近代文学館」を続刊

8. 設備改修工事

屋上防水塗装（見積：税込256万）、給水加圧ポンプユニット交換（見積：税込108万）、屋内消火栓バルブ交換・送水管チェック（見積：税込74万）、炭酸ガス消火設備の撤去および内装（635万）

その他